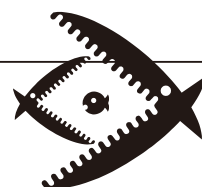


(培養促進液をシャーレ上の培養液に添加するだけ)



こんなことができます!

簡単に「スフェロイド」を形成する画期的な培養促進剤。

【解決したポイント】

本特許のスフェロイド形成促進剤は、水産物の体液から簡単に取り出すことができるため、非常に安価に製造できる。しかも、シャーレ上の培養液に添加するだけで簡単に「スフェロイド」を形成させることができる。

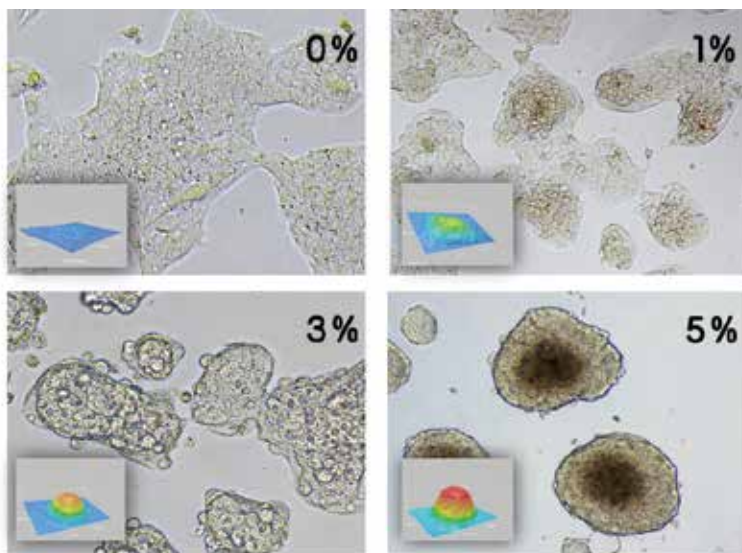
【従来の問題点】

スフェロイド培養は、シャーレ上の表面加工やガンを発生させた動物から取り出した液体を利用するなど、特殊な技術や製造コストがかかる問題がある。

技術の概要

魚皮と筋肉の間隙物質(体液)または凍結した時に生ずるドリップを無菌処理して作成した液体を細胞培養時に添加することで、簡単に細胞のスフェロイド(三次元)培養が可能であり、スフェロイド培養のための促進剤として有効である。特に、深海魚類であるノロゲンゲから抽出した体液は、スフェロイド形成の効果が高く、簡単に製造することができる。

図・写真



ノロゲンゲ体液添加によるHepG2細胞のスフェロイド化

発明者からのメッセージ

スフェロイド培養は、細胞培養の基本技術として再生医療などの分野で非常に重要である。

日本海の資源から、身近なバイオ素材としてこの培養液を発明することができた。

ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号/L2011005876
- 2) 特許番号/特許第5578648号
- 3) 公開番号/特開2011-062129
- 4) 出願番号/特願2009-215142
- 5) 出願日/2009.9.17
- 6) 発明の名称/「スフェロイド形成促進剤」
- 7) 特許権者/地方独立行政法人

鳥取県産業技術センター

- | | | |
|----------------|----------------------------|-----------------------------|
| 8) 代表発明者/野口 誠 | ■許諾 | □譲渡 |
| 9) 実施権許諾・譲渡種別 | ■有 | □無 |
| 10) 共同開発・研究の意思 | ■有 | □無 |
| 11) サンプル提供の予定 | ■有 | □無 |
| 12) 技術指導の意思 | ■有 | □無 |
| 13) 実施実績 | <input type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 試作 |
| 14) 事業化実績 | <input type="checkbox"/> 有 | ■無 |
| 15) 実施権許諾実績 | <input type="checkbox"/> 有 | ■無 |

連絡先

- 1) 所属/公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名/知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号/0857-52-6722
- 4) E-mail/chizai@toriton.or.jp